

拡張 DM エディタ バージョン 7.1.5 更新記録

2013/11/22
有限会社ジオ・コーチ・システムズ
<http://www.geocoach.co.jp/>

1. アンダー・オーバーシュート

メニュー「チェック」の「アンダー・オーバーシュート」と「アンダー・オーバーシュート(組み合わせ)」にオプション「図形区分は0のみ」を追加しました。

アンダー・オーバーシュート

対象

- 高さで
- 分類コードで指定
選択...
- 二次要素は対象外
- Z値が-999.0以下は対象外
- 表現補助データは対象外
- 図形区分は0のみ

チェック項目

- アンダーシュート
- オーバーシュート

シュートの最少長 m以上
シュートの最大長 m以下

処理

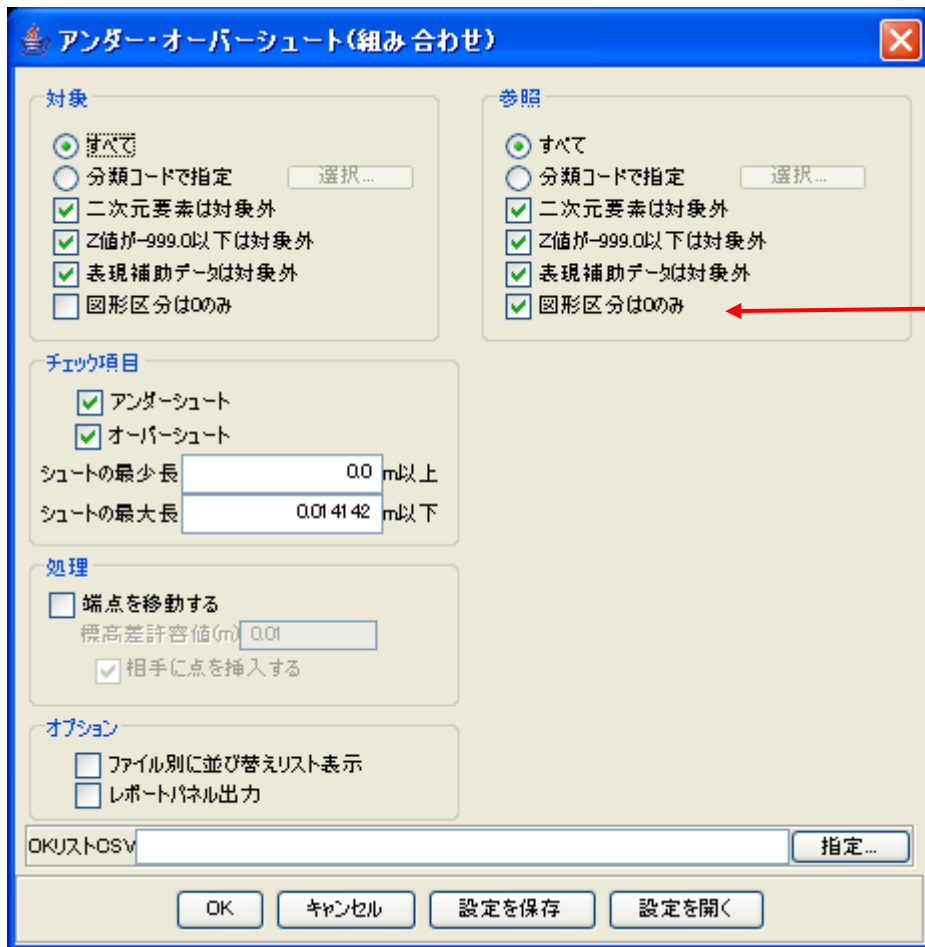
- 端点を移動する
標高差許容値(m)
- 相手に点を挿入する

オプション

- ファイル別に並び替えリスト表示
- レポートパネル出力

OKリストCSV

【図形区分は0のみ】 図形区分が0の要素のみを対照とします。



2. 方向要素チェック

メニュー「方向要素チェック」にオプション「近傍の3次元の等高線との標高差」を追加しました。

方向要素チェック

方向(E6)

対象

すべての方向要素(E6)

分類コードで指定 選択...

内容

方向要素(E6)をリストアップする

同一XY座標

位置の座標と方向を示す座標が同じ

点要素(E5)に変換する

近傍の3次元の等高線との標高差 ←

近傍の3次元の等高線との距離

方向(E6)以外

方向(E6)になるべき要素をリストアップ

方向(E6)かもしれない点(E5)をリストアップ

オプション

レポート/パネル出...

OKリストCSV 指定...

OK キャンセル 設定を保存 設定を開く

【近傍の3次元の等高線との標高差】

「点要素チェック」と同じ機能です。点(E5)の代わりに方向(E6)をチェックします。図郭が斜めの場合など、標高点が点(E5)ではなく、方向(E5)で作成されているケースに対応するための機能です。